

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

174-646

事務事業名	学校改修事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	学校教育課		包含する細々目	1	10	2	3	11	2	14,000
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり					1	10	3	3	11	2	8,000
施策	22 義務教育の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議								
		事業期間		年度～	年度							
					関連計画条例等	地方財政法						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市内の小中学校 児童・生徒	小中学校数(校)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			29	29			
	児童・生徒数(人)	児童・生徒数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		最終目標達成年度	
			9639	9550			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	教育環境が向上する 支障なく使える	実施済小中学校数(校) (上郷小、龍江小、三穂小、東中、鼎中)	18目標	5	最終目標	29	
			18実績	5	19目標	6	↑
			23目標	11	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
18実績				19目標		↑	
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	小中学校29校の学校施設を計画的に改修する。 <参考>細々目名:小学校・中学校建設事業費(単独)	18年度の実績 老朽化した学校の校舎及び体育館の屋根、外壁ほかを改修して雨漏り等を無くし教育環境を維持向上させる。 竜丘小、龍江小、山本小、松尾小、上郷小、東中、鼎中	H18年度実施学校数(校)	7
		19年度計画 老朽化した学校の校舎及び体育館の屋根、外壁ほかを改修して雨漏り等を無くし教育環境を維持向上させる。 竜丘小、山本小、松尾小、座光寺小、旭ヶ丘中、竜峡中	H19年度実施予定学校数(校)	6

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	-	0
	一般財源	22,000	22,000
事業費計(A)	22,000	22,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 80	19年度 80
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	286	286
	トータルコストA+B	22,286	22,286

特定財源内訳や補足事項	なし
-------------	----

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	良好な教育環境のなかで児童、生徒(含外国籍児童、生徒)が生きる力(知育、徳育、体育)をつけることができる。 児童、生徒(含外国籍児童、生徒)が生きる力(知育、徳育、体育)をつける。	良好な環境で授業を受けることができる児童、生徒数の比率 学校が楽しいと感じている児童生徒の割合	現状値	86.5	19実績	
			20実績	84.8	21実績	
	文科省基準を満たした学校の数(ムトス指標)	文科省基準を満たした学校の数(ムトス指標)	22実績		23目標	91
			現状値	29	19実績	90
			20実績		21実績	
22実績				23目標	29	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
過去は大規模改修事業で屋根外壁改修も含め1校集中で改修を行ってきたが、建物の老朽化と共に雨漏り等発生が頻繁になり授業に支障をきたす様になたため、平成9年頃、数校単位で屋根外壁を主に改修を計画及び実施してきた。	学校施設の屋根、外壁面積は大きく何処で雨漏れがあるか発見しにくい。 建設後数十年経った体育館、校舎等が多数あり塗装及び防水層の劣化が見受けられる。	学校開放を行っている体育館においては、自治会等から雨漏り防止の要望あり。

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 関連事業あり (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	建設後数十年経った体育館、校舎等が多数あり塗装及び防水層の劣化が見受けられ、改修を計画的に行っているが雨漏り等が発生した場合は緊急に対応する必要がある。 優先順位の検討をし、支障を早期解決させる。 小規模の箇所は、学校施設維持改修事業で対応する。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	